

発表要旨の見本

植物の気孔を観察して大気汚染マップをつくる

△△県立〇〇高等学校 生物部
長船武蔵・瀬戸内桃子・白壁颯太

目的：大気汚染は、人間の経済活動や火山噴火などの自然災害などによって大気が有害物質で汚染されることである。人の健康や生活環境、動植物に悪影響を及ぼす重大な環境問題で、日本でも光化学スモッグの発生によって多くの健康被害が出た。植物にも自動車から出る排気ガスや、工場から出る煙が何らかの形で悪影響を与えているのではないかと思い、気孔の汚れ具合を調べることで大気汚染マップを作成することを目的に研究を行った。

実験方法：日本産のマツの中でもっとも広い範囲に分布するアカマツの葉を使って気孔の汚れ具合を調査した。場所や年数の違う合計9種類のアカマツの葉を採取し、顕微鏡で・・・

結果：

考察：

【作成上の注意】

※この書式を参考にして A4 用紙 1 ページにまとめて下さい。「目的」「実験方法」などの見出しはこの通りでなくても結構です。

※上下左右に 25 mm ずつ余白を取って下さい。

※タイトル、所属、氏名はセンタリングして下さい。本文も含め、文字の大きさはこの例と同程度にして下さい。

※本文中に白黒の図や表を挿入してもかまいません。カラーの図や表は発表要旨集では白黒印刷になります。

※要旨集は印刷して年会参加者に配布するほか、PDF ファイルとして日本植物生理学会のホームページに掲載します。

※過去の発表会の要旨集は学会ホームページ内『高校生のみなさまへ』

(http://www.jspp.org/17hiroba/high_school_1/index.html) からダウンロードすることができます。2009 年（名古屋）、2010 年（熊本）、2011 年（仙台）年会等の要旨集を参考にして下さい。

【提出方法】

Microsoft Word あるいは PDF のファイルとして作成し、電子メールの添付ファイルとして下記メールアドレスにお送り下さい。

yoshi-m3()cc.okayama-u.ac.jp [()を@に変えて、お使い下さい。]

提出期限：2013 年 2 月 4 日（月）